

ヨコハマ市民まち普請事業

第2次提案書

- 注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- 注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	熊野の森, 子どもの居場所プロジェクト実行委員会
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	港北区 樽町 一丁目
提案名 (25字以内)	熊野の森, 子どもの居場所プロジェクト
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 (具体的な整備内容※ ¹ を工夫した点※ ² にも触れて記入してください) ※ ¹ 施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※ ² 住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	<p>公園や公民館といった公共空間がない大倉山自治会エリア内にあって、地域最小の公園・公民館となるコミュニティスペースの整備を目指し、下記のような外構整備を実施します。また外構整備を通じ、通学路となっている前面道路・交差点の安全性向上に寄与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① パーゴラ：内と外を繋ぐ半屋外空間 ② 既存塀の撤去：屋内外のコミュニケーションの活発化，見通しの確保による事故防止 ③ 舗装の撤去と芝生：子どもや地域の人が寛げる小さな広場 ④ 固定ベンチ：坂の上に立地するため，歩行者が一休みできる空間 ⑤ 植栽：エディブルな種類を中心に，メンバーや地域住民で施工 ⑥ 室外機移設と雨水タンク・雨庭設置：地域の自然環境啓発の一助 ⑦ 掲示板・街灯・コーナガード：施設および地域の情報発信と夜間の防犯性向上，前面交差点での夜間の事故防止 ⑧ ブックスタンド：地域最小の図書館として，様々な本を貸出 ⑨ コンポストの設置：地域での資源循環
施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください) ※第1次提案書より具体的に記入してください	<p>本提案の施設は，住宅でありながら，一階リビングと外構を合わせて「子どもの可能性を広げる」コミュニティスペースとして開かれ，地域のパブリックな場や交流のハブとして利用されることを目指しています。屋内では駄菓子屋（毎週）・セミナー・自治会の会議（毎月）などを開催します。屋外は，屋内と一体になって工作や染め物のワークショップといった多彩なイベントを開催するとともに，地域の人が気軽に立ち寄れる場として，芝生・ベンチ・本の貸出（ブックスタンド）・物々交換スポット等を設け，地域の交流を促します。また雨水タンクや雨庭を設けて激甚化する降雨の緩和を図るとともに，コンポストと併せて地域の環境を考える啓発の場としていきます。</p>
提案の背景	私達は，閉鎖的・細分化されている現在の社会や家庭に問題意識を持

<p>(なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください)</p> <p>※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>ち、家でも学校でもない「子どもの可能性を広げる」場所づくりを目指しており、その拠点となる場所として本施設を計画しています。</p> <p>また、熊野神社市民の森が所在する師岡・樽町地域は豊かな自然や農地が残る一方、都市基盤が整わないまま宅地化が進行しており、公園が少ない、道が狭い、土砂災害警戒区域が多い等の課題があります。本施設が位置する樽町一丁目の高台エリアは「大倉山自治会」として独立していますが、同自治会のエリア内には公園がなく、自治会も単独の公民館を持っていません（コロナ禍前までエリア内の病院の会議室を利用していましたが、現在それが不可）。物理的な空間を持っていないため、活発な地域活動がなかなか起こりにくい状況にあります。同様に子どもが集える場所が無く、一次審査通過後に実施した駄菓子屋では想定以上に多くの子ども、親が集まり、友人と遊んだり宿題をするなど、新たな居場所が生まれました。</p> <p>こうした場の重要性が改めて認識された一方で、屋外空間の課題（塀が高いため閉鎖的で屋内の活動が外から見えない、気軽に立ち寄れない、見通しが悪く事故が懸念される等）も明らかとなったため、本提案の整備を通じて、より多くの人に開かれた場を目指します。外構の整備にあたっては、師岡・樽町の特徴である市民の森や農地といった特徴を後世に伝えていく場としていきます。</p>
<p>整備プロセス（スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源^{注4}）、費用縮減の工夫に触れて説明してください</p>	<p>塀や舗装の撤去は専門業者、パーゴラの設置は工務店、各種電気工事は設備業者が実施しますが、植栽整備は、造園業を営み専門知識を持つ提案メンバーの指導のもと、他のメンバーや地域の方の参加で実施します。植栽は造園業のメンバーの調達ルートを活用し、可能な限り廉価で調達します。また同様に雨庭の施工も、参加者を募ってDIYで実施し、施工に必要な砕石は塀や舗装撤去時のガラを活用します。その他、ベンチや掲示板等の細かい造作類は、工務店の指導のもと、可能な限りメンバーが自作することとし、段階的に実施します。</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法（維持管理・運営するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源^{注4}）に触れて説明してください</p>	<p>【施設の維持管理】日常的な維持管理は、施設のオーナーであり住人である提案メンバー夫婦で実施します。植栽などを大がかりに手入れする場合は、他のメンバーや地域の方の協力も得るようにします。</p> <p>【イベント運営・広報】駄菓子屋やワークショップ・セミナーなどはメンバーで企画し、運営します。日常的な情報はインスタグラム等で適宜発信、毎月かわら版である「レモン便り」を発行します。</p> <p>【運営資金】運営に必要な資金は、支出としては日常的な光熱費、植栽・パーゴラ・ベンチの維持費、広報費が想定され、収入としては屋内のレンタル料（自治会・ワークショップ等）、駄菓子屋の販売収入等が想定されます。こうした支出は、収入と相殺しつつ、メンバーの自宅でもあるため、その日常的な維持管理の中でカバーします。</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

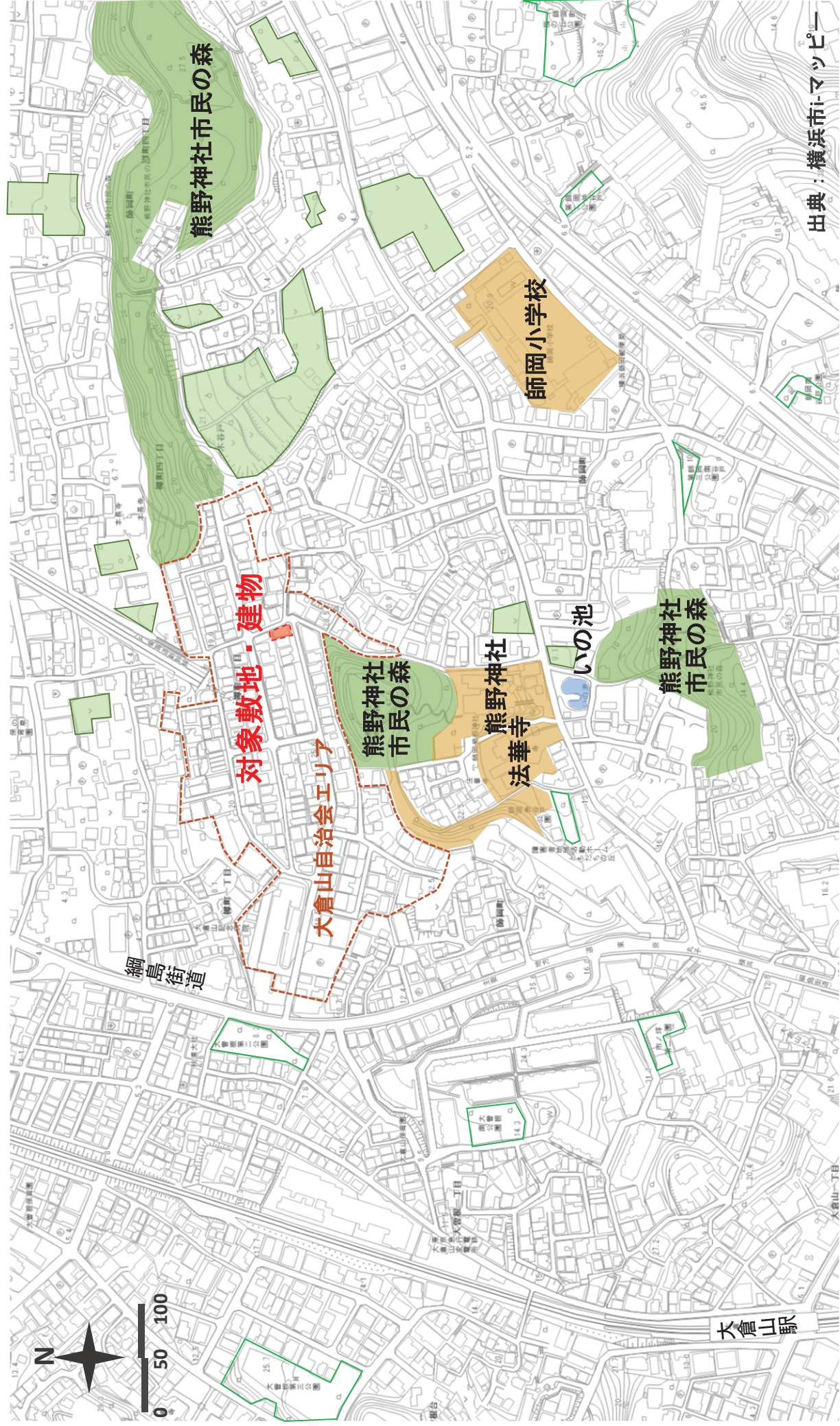
<p>1次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料（任意様）</p>	<p>9月以降、毎火曜日に駄菓子屋を企画、平均して30人程度の親子が訪れました。これを通じて多くの地域の方と知り合い、例えば、近隣で大きな緑地を持っており、そこで定期的にカフェや上映会を開催しているお宅と連携して、12月以降、共同で上映会を実施する予定</p>
---	--

式)に記入してください	です。11月からは一般向けのセミナー・ワークショップを複数回開催、こうした活動を紙媒体の「レモン便り」(9月から毎月発行)として頒布、またインスタグラム「kumanolemon」として発信しています。さらに12月からは、地元大倉山自治会の毎月の定例会の場として、活用を開始する予定です。
関係者の合意・調整状況 (地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください)	地権者・建物所有者は提案者自身です。隣接する住民への説明は内覧会等を通じて順次実施しました。施設が所在する大倉山自治会会長への説明を行い取組に理解をいただいただけでなく、取組への推薦状を認めていただきました。2024年12月以降は、自治会エリア内で中心に位置する本施設を、自治会の月例会議の場として利用することになりました。その他、地元師岡小学校PTA会長、熊野神社市民の森愛護会会長への説明を行い、いずれも取組への理解と歓迎の言葉をいただいています。
その他提案について特にPRしたい点を記入してください	本提案は、個人宅を地域にひらき、子どもの居場所づくりを中心に、地域のコミュニティを活性化する取組です。既に屋内空間の整備を自費で終えており、まち普請を通じて屋外空間の整備を進めたいと考えています。特に既存ブロック塀は、まちから屋内への視線を妨げ、活動の様子が見えにくくしており、これを撤去し、様々な機能を持った屋外空間を整備していきたいです。既に様々な活動を通じて、地域の子供達の居場所として多くの人に愛される場所となっています。道行く人には、メンバーが必ず挨拶をして、この場所を知ってもらうよう努めており、認知も上がっています。また、多くの人から以前、近くで読み聞かせ活動「いちご文庫」が行われていたことを伺い、ブックスタンドとしてこの活動を継承したいと考えています。
目指す地域の将来像 (施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください)	本提案の施設を中心に、自治会の活動の場として利用されていけば、地域活動が再び活発となる可能性を秘めています(以前は道路封鎖をして、自治会主催で縁日をしていたこともあったそうです)。公共空間に限られる大倉山自治会エリア内において、各家の屋外空間の整備と地域への配慮が、地域を盛り上げる重要な要素になると考えられ、本整備はその先駆けとなるように努めます。住民が少しずつ自らの資源を持ち寄り、住民同士や地域環境への配慮が生まれてくるような地域を目指したいです。具体的には、各家で屋外にベンチを設ける、少しでも植栽を増やし緑の視認性を上げることで、熊野の森を繋ぐ道としての景観を整える、雨水タンクや雨庭を設けて豪雨災害を緩和する、等が考えられます。さらに師岡・樽町地域の農地でブックスタンドを置いたり、市民の森の手入れに多くの人参加するなど、本施設をハブに、さらに地域に活動の輪を広げたい。これらを通じて、地域の豊かな自然や資源(農地や森、生態系)が将来にも受け継がれ、子ども達が大人になっても住み続けたいと思える地域を目指していきます。

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- ✓ 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- ✓ 記載内容に個人情報はありません。

位置図



住居表示：港北区樽町一丁目

敷地面積：約177㎡／建物面積：約175㎡

公園

農地

出典：横浜市i-マップ

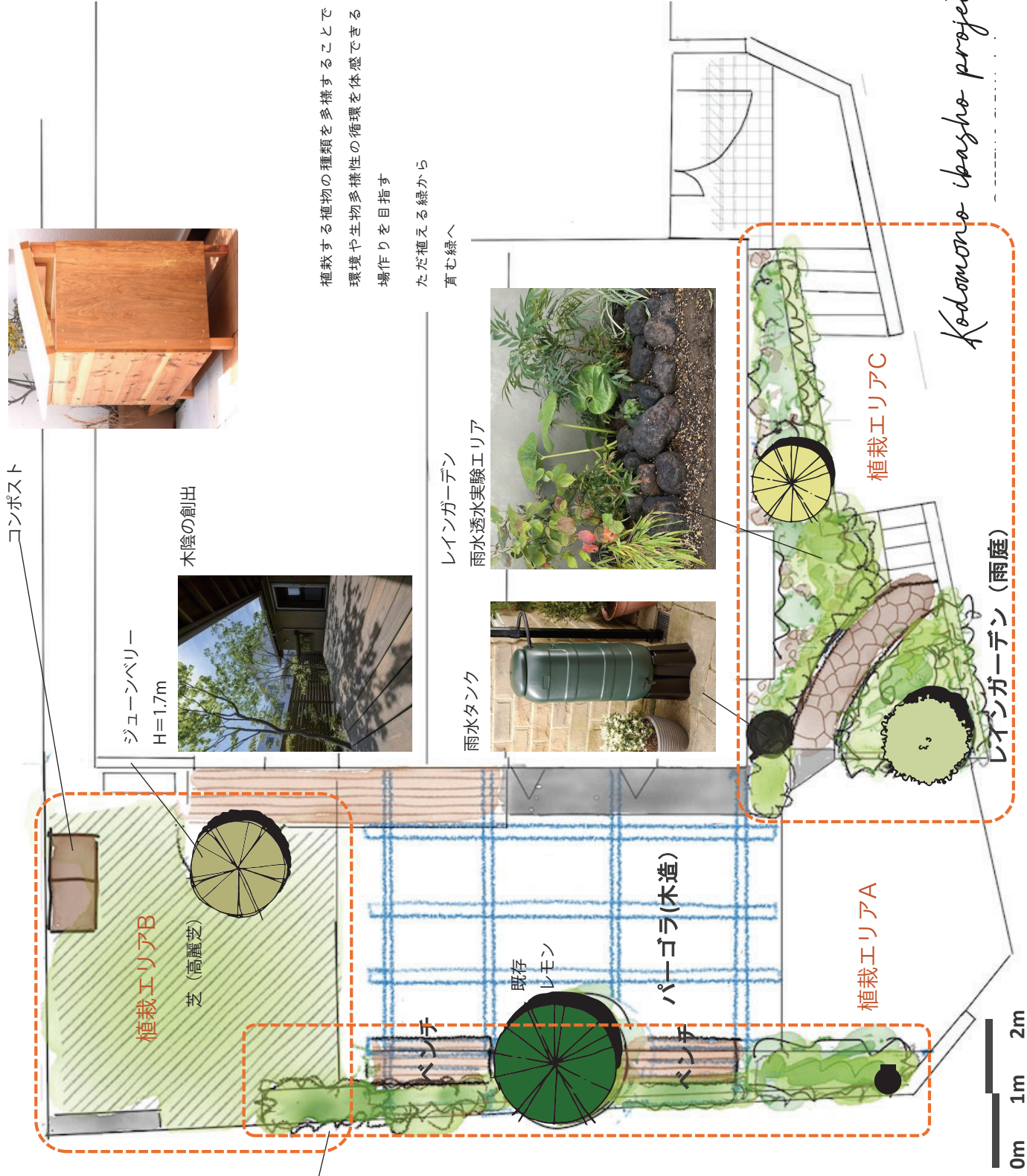
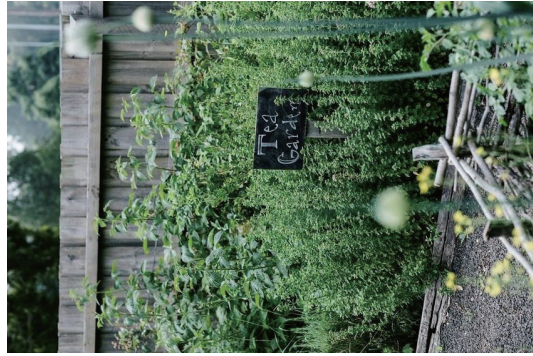
完成予想図



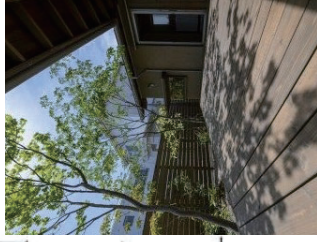
植栽平面図

子供達の記憶に残る
外の場作り

エディブルガーデン



植栽する植物の種類を多様することで
環境や生物多様性の循環を体感できる
場作りを目指す
ただ種える緑から
育む緑へ



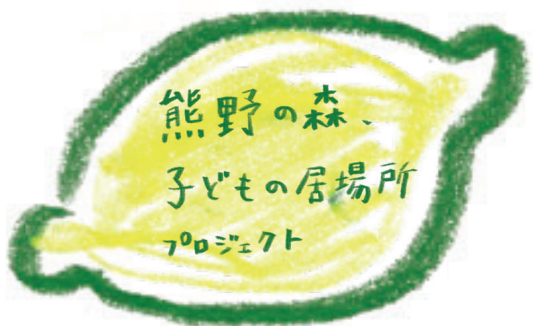
ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 （費用又は労力の負担等）
エアコン移設工事	移設・配管部材・取付	1式	53,500	53,500	
仮設工事費・廃棄物処理費		1式	200,000	200,000	
塀・舗装撤去費	はつり・解体・運搬・処分	塀12㎡ 舗装12㎡	塀50,000 舗装50,000	1,200,000	
ベンチ製作	防腐処理木材	20本	4,000	80,000	DIYで実施（5人で2日程度）
パーゴラ製作（木造）	材料・製作加工	1基	1,500,000	1,500,000	塗装・飛出し防止柵等はDIYで実施（5人で3日程度）
パーゴラ設計	構造確認	1式	280,000	280,000	設計はメンバーで実施
左官工事	塀撤去跡仕上げ、パーゴラ・タンク基礎	1式	750,000	750,000	仕上げ後の塗装はDIYで実施（5人で1日程度）
電気工事	街灯本体・街灯設置・屋内配線	1式	500,000	500,000	
掲示板・ブックスタンド製作	材料・製作加工	1基	200,000	200,000	可能な限りDIYで実施
コンポスト設置	コンポスト	2基	20,000	40,000	据付はDIY
雨水タンク設置	雨水タンク	1個	120,000	120,000	DIYで設置
植栽エリアA	植物（低木・下草類）・土等資材	5㎡	8,000	40,000	植付けはDIYで実施（5人で1日程度）
植栽エリアB	高木・高麗芝・土等資材	12㎡	12,000	144,000	植付けはDIYで実施（5人で1日程度）
植栽エリアC	植物・土等資材	5.5㎡	15,000	82,500	植付けはDIYで実施（5人で1日程度）
雨庭造作	資材	1㎡	100,000	100,000	DIYで実施、塀撤去のガラを活用（5人で7日程度）
合 計				5,290,000	



レモンの家が結ぶ 人、まち、みどり

これまでの活動

※隔週土曜にまち普請メンバー定例打ち合わせ

- 7月15日 壁塗りワークショップ
- 8月22日 師岡小学校PTA会長面会
- 8月31日 オープンハウス
- 9月8日 雨庭整備に関するレクチャー
- 9月10日 駄菓子屋
- 9月14日 オープンハウス
- 9月16日 メンバーでまち歩き
- 9月17日 駄菓子屋
- 9月24日 駄菓子屋
- 9月28日 熊野神社市民の森愛護会会長面会
- 10月1日 駄菓子屋
- 10月5日 大倉山自治会会長面会
- 10月8日 駄菓子屋
- 10月15日 駄菓子屋
- 10月17日 DIYワークショップ
- 10月22日 駄菓子屋
- 10月29日 駄菓子屋
- 11月5日 駄菓子屋
- 11月12日 駄菓子屋
- 11月17日 染色ワークショップ
- 11月19日 駄菓子屋
- 11月24日 「こどものまち」セミナー
- 11月26日 駄菓子屋
- 12月1日 自治会12月定例会（予定）

「レモン便り」毎月発行，インスタ発信



オープンハウス（内覧会）



毎週火曜 駄菓子屋開催



ワークショップ・レクチャー

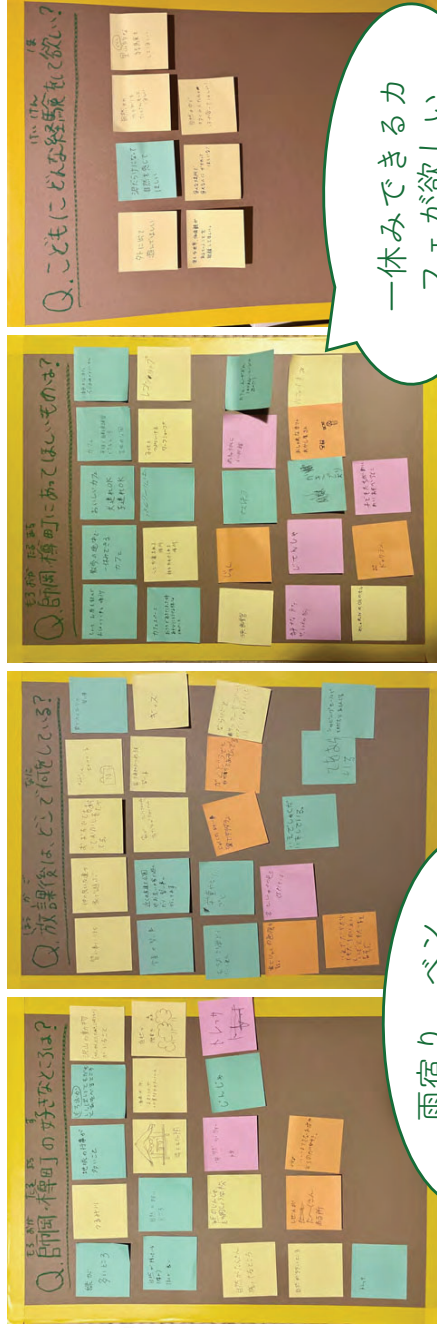




しんじんの家が結ぶ
人、まち、みどり

地域の声を 集めました!

駄菓子屋の営業時間や、地域の関係者への説明、まち普請メンバーでのまちあそびがありました。や課題を抽出しました。師岡・樽町地域について、より深く知ることができました。



雨宿り、ベンチ、腰掛ける場所が欲しい

一休みできるカフェが欲しい



<p>Q. 師岡・樽町の子ども居場所について、より深く知ることができました。</p> <p>Q. 駄菓子屋の営業時間はどのくらいですか?</p> <p>Q. 週末、平日、どちらが利用しやすいですか?</p> <p>Q. 師岡・樽町の子ども居場所について、より深く知ることができました。</p>	<p>緑が多いところ</p> <p>熊野川</p> <p>地域の行事が多いところ</p> <p>いっぱい芝生と遊べる場所</p> <p>深山の動物 (へび・鳥・たぬき・こもりねなど) がいること</p> <p>自然と暮らしている。住人が良い</p> <p>自然が多いところ</p> <p>寺社仏閣</p> <p>Q. 師岡・樽町の子ども居場所について、より深く知ることができました。</p> <p>緑が多い・おまつりが多い・小動物が好き・自然がたくさんいる</p> <p>自然がたくさん残っているところ</p> <p>自然と暮らしていること</p> <p>熊野神社・師岡小学校</p> <p>自然が多いところ</p> <p>神社</p> <p>トレッサ</p> <p>自然が多いところ</p> <p>自然がたくさんあるところ</p> <p>こういう素敵なお店があるのが好き</p> <p>トレッサ</p> <p>買い物に行く</p> <p>仲の良い友達の家で遊ぶ</p> <p>おうちで遊ぶ場所があるところ</p> <p>ならいことに出かけている</p> <p>家でのんびりがいい</p> <p>卒業や買い物</p> <p>近くの友達とお互いの家へ遊びに行く</p> <p>家で遊ぶだけ勉強、習い事</p> <p>家で遊ぶだけ勉強、習い事</p> <p>Q. 駄菓子屋の営業時間はどのくらいですか?</p> <p>Q. 週末、平日、どちらが利用しやすいですか?</p> <p>Q. 師岡・樽町の子ども居場所について、より深く知ることができました。</p> <p>Q. 駄菓子屋の営業時間はどのくらいですか?</p> <p>Q. 週末、平日、どちらが利用しやすいですか?</p> <p>Q. 師岡・樽町の子ども居場所について、より深く知ることができました。</p>
--	---

農地にブ
ックスタ
ンド

市民の森
動への参
加



地域へ
の波及

各家前
にベン
チ



パー
ゴラ

ベン
チ

地域の
広場

芝
生

縁
側

交差点・通学路
の安全性向上

ブ
ックスタ
ンド

貸し
借りボ
ックス

シ
ェア

掲
示板

コ
ンポ
スト



レ
モ
ン
の
家



駄
菓子
屋
さ
ん

レ
ン
タ
ル
ス
ペ
ー
ス

体
験
交
流

子
ど
も
の
居
場
所

自
治
会
活
動

ワ
ー
ク
シ
ョ
ッ
プ

資
源
循
環

雨
水
タ
ン
ク
・
雨
庭

エ
デ
ィ
ブ
ル
植
栽

2次コンテスト事前質問集

【提案名グループ名】 熊野の森, 子どもの居場所プロジェクト実行委員会	
事前質問	回答欄
朝比奈委員	
質問なし	
植松委員	
① 代表者のご夫妻の、子ども達に対する考え方や、住み開きというものに対する認識は素晴らしく、敬意を表します。敢えて申し上げるなら、ご自身のお子さん方が成長されて住み開きの我が家は落ち着かなくて嫌だ、と言い始めた時の対処について教えて下さい。	本提案は我が家（レモンの家）を地域に開くことで、子どもたちに、自宅・学校以外の第三の居場所を作ることを目指しています。同様に、我が子達には、ぜひ自宅（レモンの家）以外に、第三の居場所を見つける力をつけて欲しいと期待しています。また現実的には、祖母の住む実家や叔母宅が至近にあり、そちらに寄ることになるかと思いますので、問題はないと考えます。
川原委員	
質問なし	
後藤委員	
質問なし	
杉崎委員	
① コミュニティスペースとリビングの関係は大丈夫でしょうか（暮らしを開きすぎていないか不安）。	一次審査以降の駄菓子屋やワークショップ等の運用では、ダイニング（左記のリビング）とコミュニティスペースとの間の引き戸を閉めることで、大きな問題はありませんでした。 むしろ、まち普請で屋外空間を整備し、屋外も積極的に使えるようになることで、イベントの性質に応じて、より柔軟にパブリック（敷地内の屋外や縁側）、セミパブリック（コミュニティスペース）、プライベート（ダイニング等）を段階的に使い分けられ

	<p>るようになり、状況に応じてよりメリハリのある運用ができると期待しています。</p>
鳥海委員	
<p>① 住み開きの家があることで地域が繋がりが活性化していくことは十分に想像ができます。今は「大森家の自主開放」ですが、まち普請での整備した箇所は開放が前提になると思います。大森家の敷地でありながら地域開放のスペースとなった場合、困ることはありませんか？</p>	<p>屋外空間は基本的に日中は開放し、町会の活動含め積極的に活用していくつもりです。また、夜間の立入も拒むものではありません。何か大きなトラブルとまらない限り、屋外は終日開放していきます。念の為、防犯カメラは設置しようと考えています。むしろ夜間も、交差点を街灯で照らす、塀を取り壊すことで見通しを良くする、といった取組を通じ、地域の交通安全・防犯に資するため、敷地内にとどまらない地域への貢献ができると考えています。</p>
<p>② 自分の家の一部でありながらパブリックスペースを兼ねる場所であることについて、利用者みんなに知ってもらうために周知する「禁止事項やルール」について、決まっているものがあれば教えてください。</p>	<p>今のところ、明確なルールを定めてはいませんが、持ち込んだゴミは持ち帰ってもらう（駄菓子屋で買ったゴミは回収）ことにしています。屋外にもこのルールを適用する予定です。もちろん、近隣に迷惑となる行為（騒音等）は禁止したいと思いますが、それ以外はなるべくルールを設けずに運用したいと思います。</p> <p>あとはイベント等の内容に応じて柔軟にルールを設けたいと考えています。</p>
肥後委員	
質問なし	
松村委員	
質問なし	